

チーム名	Uta・K・Blooms	大学名・学部	明治大学 経営学部	福島復興ステージ
プラン名称	相双で創造！最高のArtを ~プロアーティスト×アーティストの卵×観光客×住民で0から創出するフォトジェニ旅~			
テーマ	復興に向け前向きに取り組んでいる方と連携した「観光まちづくり」			
リーダー名	新田 美咲	メンバー名	門田 未咲、小林 賢太郎	
指導教職員名	歌代 豊			

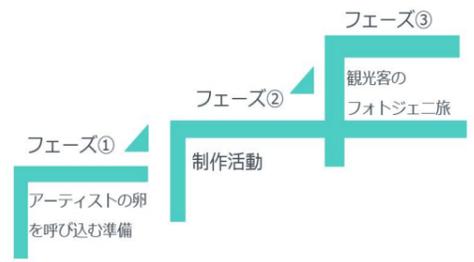
提案プランにおける問題認識



既存のアートスポットのネットワーク設計と学生らの実践機会を創出する
「共に創る」フォトジェニ旅 を提案

- 複数の町に点在するアートを結んだ線の観光を意識
- 見るだけでは終わらない体験型観光
- 専門学生らの実践の場の創出

提案プランにおける問題認識

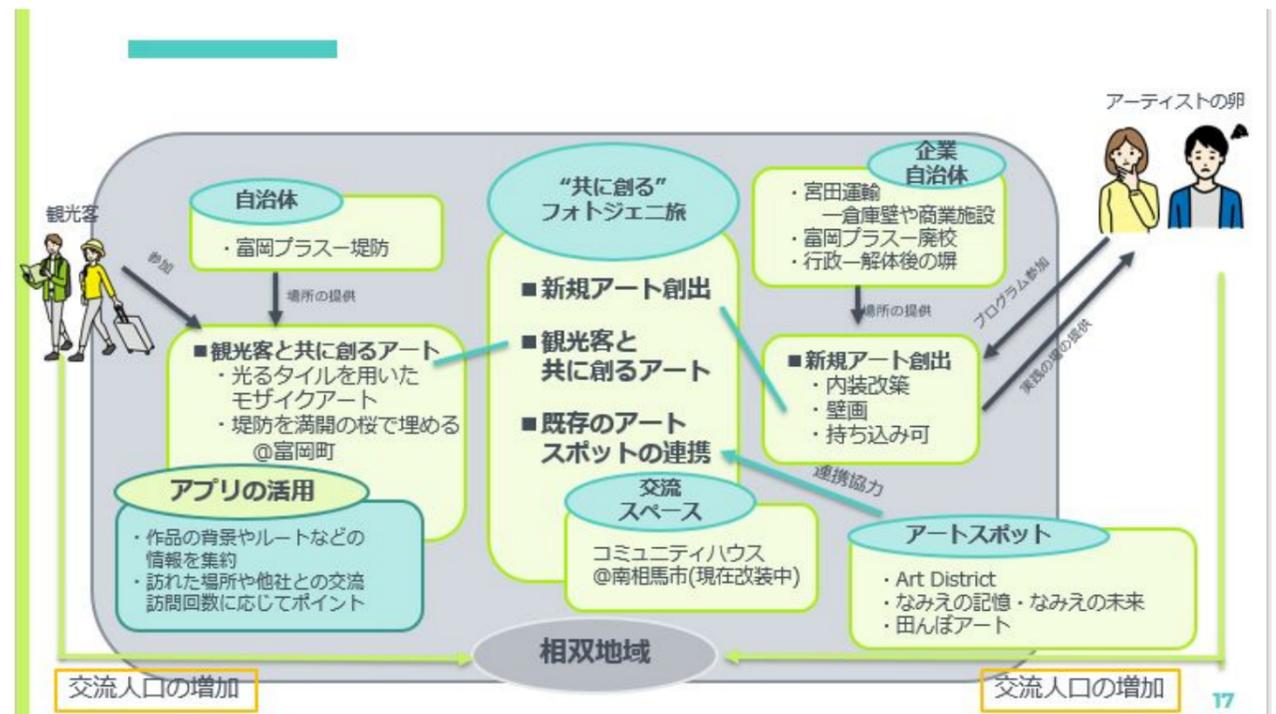


- <フェーズ①>
- ・製作場所、交流スペースの確保
 - ・既存のアートスポットの連携
 - ・専用アプリの作成
- <フェーズ②>
- ・アーティストの卵による制作活動
- <フェーズ③>
- ・フォトジェニ旅

新規性

- ① **アーティストの卵の成長・表現を福島で行う点**
 ⇒ 実践の場をなかなか得ることが難しいアーティストの卵の実践の場を0ベースの福島に設ける
- ② **プロのアーティスト、アーティストの卵、観光客、住民が織りなすフォトジェニスポットを形成する点**
 ⇒ 単にプロアーティストの作品でフォトジェニスポットを形成するのではなく、あらゆる人の掛け算によって生み出されるアートスポットの創造
- ③ **廃校や解体後に残されたブロック塀、堤防などのアート化**
 ⇒ 震災後にそのまま残されている資源や、あまり活用されない堤防などを活用することでプラスのイメージに変える

問題の解決策



効果

- <相双地域>
- ・地域の賑わい創出+まち同士の連携強化
 - ・交流人口、関係人口の獲得
 - ・震災のまちから「アートのまち」へ
 - ・アートが故郷に帰るきっかけに
- <アーティストの卵>
- ・新たなインスピレーションを獲得
 - ・作品を多くの人に見てもらえる実践の場
- <観光客>
- ・新フォトジェニック旅地
 - ・アーティストの成長過程に触れる
 - ・自分も体験&貢献

